

根津幼稚園 園長だより web版

2.4.30 日配信

園長 小岩井 聡

明日から5月ですね。昨年の今頃は、新元号決定のお祝いムード一色だったことが遠い昔のように感じられます。先日、各担任からご様子伺いの電話をさせていただきましたが、子どもたち、ご家族の皆様が健康に過ごしていらっしゃるようでこちらとしてもほっと安心しております。また、幼稚園の休園措置にご理解・ご協力をいただいていることにあらためて感謝いたします。

今年のゴールデンウィークは、STAYHOME週間となり、出掛けることもままならない状況です。そこで、家庭で過ごすときのお役に立てればと思い、根津幼稚園の教員におすすめ絵本を紹介してもらいました。現状では、なかなか図書館などの利用も難しいかとは思いますが、何かのお役に立てていただければ幸いです。

野本副園長のおすすめ

『はじめてのおつかい』（作:筒井頼子 絵:林明子 福音館書店刊）

※林明子さんの絵が細かくて丁寧で素敵です。

『でんしゃにのって』（作:とよたかずひこ アリス館刊）

※繰り返すと車内の様子が楽しい絵本です。

『たんたのたんけん』（作:中川李枝子 絵:山脇百合子 学研刊）

※たんたシリーズのひとつ。一緒に探検しながらワクワク感が楽しめます。

堀井教諭のおすすめ

『どうぶつまねっこたいそう』（作:大森裕子 交通新聞社刊）

りす組のみんなとまねっこをして、体を動かすことを楽しんだ絵本です。

『きょうはなんのひ?』（作:瀬田貞二 絵:林明子 福音館書店刊）

ほっこりした雰囲気、自分でもこんなことしたい!と思うようなところが好きな絵本です。

『まさかりどんがさあたいへん』（作:絵:かこさとし 小峰書店刊）

まさかりどんたち、いろいろな道具があれやこれやをつくっていくおもしろさと、かこさんのあたたかい絵が好きな絵本です。

船水教諭のおすすめ

『それなら いいいえ ありますよ』（作:澤野秋文 講談社刊）

※ちょっとなつかしいそして不思議な昔の日本を感じながら、親子でワクワクできる絵本です。

『こんたのおつかい』（作:絵:田中友佳子 徳間書店刊）

※こぎつねのこんたが「もりのみち」を歩いていくと…。最後は大人も子供も笑顔になる楽しいお話。

『パンダおやこたいそう』（作:いしやまさとし 講談社刊）

※親子体操に最適。おうちでぜひ一緒にやってみてください。

『おかあさんがおかあさんになった日』（作:絵:長野ヒデ子 童心社刊）

※母の日が近いので、親子でこの本と一緒に読むのも素敵だと思います。

鈴木教諭のおすすめ

『だいいょうぶ だいいょうぶ』（作:絵:いとうひろし 講談社刊）

読むたびに祖父母や家族を想います。またおじいちゃんと僕のお散歩の中で成長していく姿やおじいちゃんの教えてくれる事に考えさせられます。

『うずらちゃんのかくれんぼ』（作:きもとももこ 福音館書店刊）

子ども達とうずらちゃんやひよこちゃんを探しながら読むと、いろいろなやりとりができて楽しいです。かくれんぼの中で虫などの細かい所にも着目してほしいです。

園長のおすすめ

『バムとケロシリーズ』(作:島田ゆか 文溪堂刊)

※不思議なキャラクターがいっぱい出てくる絵本。好きなキャラクターを探しながら楽しんでください。ちなみに私のおすすめキャラはおじぎちゃんです。

『まわるおすし』(作長谷川義史 ブロンズ新社刊)

※回転寿司の世界の奥深さを感じます。絵の中に隠れているちょっとした昭和エッセンスを探すと、子どもよりも大人の方がはまるかもしれません。

『おいしいのぼうけん』(作:ふるたたるひ たばたせいいち 童心社刊)

※ねずみばあさんの恐ろしさは忘れられません。子どもの頃ってどこでも冒険の場所になったなあと感じます。

以上、根津幼稚園の教員おすすめ絵本でした。

このほかにも、ご家庭で楽しく過ごすためのコンテンツとして、以下のようなものもあります。ぜひ、ご参考にいただければと思います。

- ☆ 国立科学博物館のVRツアー（PCやスマホでご覧いただけるそうです。）
 - ☆ ペーパークラフト（各鉄道会社などで無料で提供されているものもあります）
 - ☆ NPO 法人日本コーディネーショントレーニング協会の動画（体感を鍛えるトレーニングの紹介）
- （ <https://jacot.jp/co-ordination-dojou/menu> ）

おまけとして…学校、幼稚園の休校・休園やお仕事の在宅ワークで家族と一緒に過ごせる時間が増えたというお話も伺いますが、それ以上に保護者の皆さんはいろいろと大変なことも多いと思います。子育てに関して、不安になってしまうようなこともあるのではないのでしょうか。そんな時にご覧いただきたいのがNHK Eテレの「すくすく子育て」という番組サイトです。そのトップに専門家からのアドバイス・メッセージというページがあります。そこには幼児教育に関わるたくさんの先生方が、家庭で過ごさなければいけない状況を踏まえてアドバイスをくださっています。私も、「なるほど」と感じる言葉や「こう言ってもらえると少し気が楽になるかも」と感じる言葉に出会いました。よかったらご覧になってみてください。

最後に、お家で頑張っているいらっしゃる保護者の皆様。

5月6日までと言われていた緊急事態宣言が延長されるという話も入ってきます。いつまで家庭で過ごす日々が続くのか。先がなかなか見えてこない不安や焦りも感じると思います。それは、幼稚園の教職員も同じです。どのような状況になれば、子どもたちの健康や安全を確保しつつ、教育活動が進めていけるのか。今、子どもたちに対して、自分たちにできることは何なのかを考えています。

今までの人生で経験したことのない苦しい状況です。そのような中ですが保護者の皆様の一つお願いです。この状況の中でも、頑張ってくれているお医者さん、医療従事者の皆さん、私たちの生活維持のために頑張ってくださいている皆さんへの思いを言葉に表してみてください。子どもたちは、保護者の皆様の言葉に触れ、気持ちを感じることで、「感謝」という気持ちを育みます。今、ご家庭で過ごす中で、生きる力の基礎を培うための子どもたちにとっての大きな学びになると思うのです。

今のご自分や家族の健康を維持するために、子どもたちやご家族、大切な人の命を守るために、安心して笑顔で幼稚園で遊べる日を迎えるために、もう少しだけみんなで我慢しましょう。新型コロナウイルスという恐ろしい敵に打ち克つまで、もう少しだけみんなで頑張りましょう。そして、笑顔で新学期をスタートさせたいと思います。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。